

講 師 一 覧

No. _____

講師氏名	現職	科目・項目番号、担当科目
	保有資格	
	実務経験	
松永国大 (専任・兼任)	あいりナーシング ホーム	1 職場の理解 2 介護における尊厳の保持、自立支援 3 介護の基本 4 介護・福祉サービスと医療との連携 5 介護におけるコミュニケーション技術 6 老化の理解 7 認知症の理解 9 心とからだのしくみと生活支援技術 10 振り返り
	介護支援専門員、 社会福祉士、介護 福祉士	
	15年6か月	
酒井倫子 (専任・兼任)	あいりケアプラン	1 職場の理解 2 介護における尊厳の保持、自立支援 3 介護の基本 4 介護・福祉サービスと医療との連携 5 介護におけるコミュニケーション技術
	介護支援専門員 社会福祉士	
	19年0か月	
神谷千恵 (専任・兼任)	あいりナーシング ホーム	1 職場の理解 2 介護における尊厳の保持、自立支援 3 介護の基本 4 介護・福祉サービスと医療との連携 5 介護におけるコミュニケーション技術 6 老化の理解 7 認知症の理解 9 心とからだのしくみと生活支援技術 10 振り返り
	介護福祉士	
	13年5か月	
三原和美 (専任・兼任)	アットホームあいり	1 職場の理解 2 介護における尊厳の保持、自立支援 3 介護の基本 4 介護・福祉サービスと医療との連携 5 介護におけるコミュニケーション技術 6 老化の理解 7 認知症の理解 9 心とからだのしくみと生活支援技術 10 振り返り
	介護福祉士	
	24年2か月	
皆川佳美 (専任・兼任)	あいりケアプラン	9-2介護に関する心とからだのしくみの基礎的理解 9-3介護に関するからだのしくみの基礎的理解
	介護支援専門員 准看護師	
	29年10か月	
草深登美 (専任・兼任)	あいりナーシング ホーム	6 老化の理解 8 障害の理解 9-12心とからだのしくみと生活支援技術
	看護師	
	43年10か月	

百崎久美子 (専任・兼任)	あいりケアプラン	9-5 快適な居住環境整備と介護2 介護における尊厳の保持、自立支援
	介護支援専門員 介護福祉士	
	21年1か月	9-11 睡眠に関したところとからだのしくみと自立に向けた介護
山中由紀子 (専任・兼任)	あいりケアプラン	9-8食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
	管理栄養士 介護支援専門員	
	12年4か月	
古井千香子 (専任・兼任)	アットホームあいり	1 職場の理解 2 介護における尊厳の保持、自立支援 3 介護の基本 4 介護・福祉サービスと医療との連携 5 介護におけるコミュニケーション技術 6 老化の理解 7 認知症の理解 9 ところとからだのしくみと生活支援技術 10 振り返り
	介護福祉士	
	10年1か月	
児玉小百合 (専任・兼任)	あいりホームケア	1 職場の理解 2 介護における尊厳の保持、自立支援 3 介護の基本 4 介護・福祉サービスと医療との連携 5 介護におけるコミュニケーション技術 6 老化の理解 7 認知症の理解 9 ところとからだのしくみと生活支援技術 10 振り返り
	介護福祉士	
	10年3か月	
佐藤幾美 (専任・兼任)	あいりケアプラン	9-6整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
	介護支援専門員 介護福祉士	
	17年5か月	

注1 専任・兼任の区分は、申請者の機関の専任講師である場合のみ専任とすること。

注2 様式5（就任承諾書兼講師要件確認票）の内容をまとめて記載すること。したがって、資格欄は講師要件に規定されている資格のみを記載すればよく、実務経験については、講師要件で指定されている直接援助に従事した期間のみを記載すること。

記入例
(初任者研修)

講 師 一 覧

No. _____

講師氏名	現職	科目・項目番号、担当科目
	保有資格	
	実務経験	
○○ ○○ (専任・兼任)	○○○○ 介護福祉士 介護支援専門員 6年8か月	1. 職務の理解 2. 介護における尊厳の保持・自立支援 9 (4)生活と家事 9 (5)快適な居住環境整備と介護
(専任・兼任)	年 か月	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; background-color: #ffffcc;"> 担当する科目名を記入してください。 ただし、初任者研修科目9の「こころとからだのしくみと生活支援技術」については、項目名を記入してください。 </div>
(専任・兼任)	年 か月	
(専任・兼任)	年 か月	
(専任・兼任)	年 か月	
(専任・兼任)	年 か月	
(専任・兼任)	年 か月	
(専任・兼任)	年 か月	

注1 専任・兼任の区分は、申請者の機関の専任講師である場合のみ専任とすること。

注2 様式5（就任承諾書兼講師要件確認票）の内容をまとめて記載すること。したがって、資格欄は講師要件に規定されている資格のみを記載すればよく、実務経験については、講師要件で指定されている直接援助に従事した期間のみを記載すること。

記入例
(生活援助従事者研修)

講 師 一 覧 (生活援助従事者研修)

No. _____

講師氏名	現職	科目・項目番号、担当科目
	保有資格	
	実務経験	
〇〇 〇〇 (専任・兼任)	〇〇〇〇 介護福祉士 介護支援専門員 6年8か月	1. 職務の理解 2. 介護における尊厳の保持・自立支援 8 (4)生活と家事 8 (5)快適な居住環境整備と介護
表下の注1参照 (専任・兼任)	表下の注2参照 年 月	担当する科目名を記入してください。 ただし、生活援助従事者研修科目8の「こころとからだのしくみと生活支援技術」については、項目名を記入してください。
(専任・兼任)	年 月	
(専任・兼任)	年 月	
(専任・兼任)	年 月	
(専任・兼任)	年 月	
(専任・兼任)	年 月	
(専任・兼任)	年 月	

注1 専任・兼任の区分は、申請者の機関の専任講師である場合のみ専任とすること。

注2 様式5（就任承諾書兼講師要件確認票）の内容をまとめて記載すること。したがって、資格欄は講師要件に規定されている資格のみを記載すればよく、実務経験については、講師要件で指定されている直接援助に従事した期間のみを記載すること。